

知ってる? おかやまの森のこと

VOL.5 森の仕事は魅力いっぱい!

森林を守り育てる林業は、私たちの安全で快適な暮らしに必要な不可欠な産業です。しかし、急な斜面で重たい丸太を扱うのも、昔は人力がたより。とても大変で、危険でもあったので、働く人が減り続けていました。

今では、優れた機械が登場し、木を切ったり運び出したりする重労働を

より安全に、効率よく行うことができるようになりました。機械を操作するオペレーターとして、山で働く若い人も増え始めています。

自然に囲まれて働く林業は「気持ちいい」「カッコいい」「感動できる」魅力いっぱいの仕事へと進化し始めているのです。



昔は丸太を人力で運ぶために木組みの道を作っていたが、今では作業道の整備や機械化が進んでいる



岡山県マスコット ももっち

林業への機械導入は、昭和29年洞爺丸台風により北海道で大量発生した風倒木の処理のため、チェーンソー等が多数輸入されて本格化。県内でも近年、立木の伐採・集積などいくつかの作業を1台でこなす高性能な機械により、林業の生産性や安全性が格段に向上しています。

おかやま森づくり県民税は、岡山の森林を守り育てるために活用されています。

おかやま森づくり県民税

検索

岡山県農林水産部林政課